

桑名市議会議長
安藤 寛雅 様

第1班 班長
清水 教代 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成24年10月26日(金) 19時00分 ~ 20時45分		
開催場所	桑名市民会館		
出席議員	班長	清水 教代	
	司会	伊藤 研司	記録者 小川 満美
	佐藤 肇	安藤 寛雅	平野 和一
	大橋 博二		
参加人数	35人		
議会報告の概要	<ul style="list-style-type: none">・平成24年6月・9月定例会の報告・平成23年度決算の審議概要および結果の報告・議員定数削減について		
主な意見・要望	別紙のとおり		
備考			

議会報告会記録

【第 1 班】

(1 / 2)

開催日時	平成24年10月26日(金) 19時00分 ~ 20時45分	
開催場所	桑名市民会館	
参加人数	35人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名市総合医療センターの用地取得に関して、市が一等地を買い上げることは、その分税収が減るのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税は減収になる。市民の安心も大事だが、黒字経営を目指さなければならないので、立地のよい場所が必要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・400床の病院には500坪の駐車場が4面必要ではないか。周辺の道路は狭い道路が2本しかない。近くの小学校の通学時間帯は、混雑するのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員駐車場は病院敷地外に考えている。平面だけでなく立体駐車場も必要だと思う。 ・利用者が通学時間帯にかかるが、双方に迷惑がかからないようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・寿町3丁目の場所は、浸水予想地域になっているが、災害時に、病院の機能は保持されるのか。 ・場所は寿町ありきではないのか。郊外に400床の病院を建てれば、そこが活性化できるのではないか。安城市、彦根市、鈴鹿市、松阪市も郊外に移転した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を上設置して浸水しても機能が失われないようにする。1, 2階には高価な機械を置かない。 ・病院の場所に関しては、職員と協議をしてきたが、交通利便性、アクセス、中心市街地の活性化、既存病棟の活用を考慮した結果である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院は、旧桑名市民病院を改築しなかったのか。 ・新病院の中身についての議論はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセス、まちづくりの観点から寿町になった。 ・病院の中身については、今、話し合っている途中である。 ・小児科と産婦人科はすでに一緒になった。 ・議会としても特別委員会を設置して、よい病院をつくるよう調査研究していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・桑名駅西口のバリアフリー化することだが、トイレは改修しないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月補正予算で近鉄桑名駅のバリアフリー化のための設計費が計上された。そこにはトイレ改修も含まれている。 	

